

美術研究所報

「日本美術年鑑」の刊行

美術部第二研究室の編集による「日本美術年鑑」昭和五十八年版（昭和五十七年一月から十二月の間の記事）は昭和六十年三月三十日に刊行された。

美術部・情報資料部所員異動

美術部主任研究官田村悦子、情報資料部文献資料研究室長猪川和子は昭和六十年三月三十一日付で停年退官し、情報資料部主任研究官米倉迪夫は同年四月一日付で同部文献資料研究室長に昇任した。

美術部・情報資料部夏期学術講座

第三回夏期学術講座（美術史学）を「鎌倉時代の美術Ⅲ」の主題により昭和六十年七月十五日（月）、十六日（火）の両日、別館会議室において左記のとおり開催した。

鎌倉時代の輸入陶磁器と国産陶磁器	矢部 良明
鎌倉時代の造像工房	三宅 久雄
舍利荘殿具から見た鎌倉時代の金工	河田 貞
鎌倉時代絵画の特質	真保 亨
黒田記念室の見学	解説 三輪 英夫
美術作品の写真撮影	同 市川 和正

研究会 昭和六十年

六月 九日 仏師行快について	三宅 久雄
七月二十四日 無量寿寺本拾遺古徳伝絵	米倉 迪夫
九月 十八日 肥前宝円寺旧蔵隆三世明王像について	三浦 定俊
	三宅 久雄

昭和六十一年

一月 八日 紫式部日記絵巻の構成に関する一試論	柳澤 孝
-------------------------	------

「廢寺永久寺真言堂伝来真言八祖行状図とその関係資料展」の開催

柳沢孝美術部長の研究により平安後期の稀有な大画面遺例として近年注目を集めている永久寺真言堂伝来真言八祖行状図とその関係資料を、昭和六十年十月二十八日（月）、二十九日（火）の両日、当研究所黒田記念室において展覧した。次に展覧作品の目録を掲げ、所蔵者各位の御好意に深く謝意を表する。

- 一 真言八祖行状図（旧永久寺真言堂障子絵） 八幅 東京 某家蔵
- 二 同（冷泉為恭摸、不空） 一幅 京都 寿延寺蔵
- 三 同（冷泉為恭摸、善無畏、一行） 二幅 京都 富岡家蔵
- 四 同（復元摸写、竜猛、金剛智、不空） 三幅 東京 某家蔵
- 五 亮惠像（旧永久寺真言堂） 一幅 東京 某家蔵
- 六 永久寺絵図 享保十五年 一幅 奈良 鈴木家蔵
- 七 両部大経感得図（国宝） 保延二年 二幀 大阪 藤田美術館蔵
- 八 四天王像 重命筆 建長五年 四幀 ポストン美術館蔵

美術部・情報資料部公開学術講座

第十九回公開学術講座を昭和六十年十一月三十日（土）午後、日本経済新聞社小ホールにおいて左記のとおり開催した。

- 巧匠安阿弥陀仏快慶 三宅 久雄
日本における法華経絵の展開 宮 次男